

Top News

海洋地球研究船「みらい」
"BEAGLE 2003" 出航式 開催

挨拶をする渡海副大臣

海洋地球研究船「みらい」は地球温暖化をはじめとした気候変動の解明、予測研究を推進するため今年の8月から来年2月の約200

日をかけて、南半球周航観測を実施します。

海洋科学技術センターでは、この「みらい」の南半球周航航海観測を "BLUE EARTH GLOBAL EXPEDITION 2003" (2003年青い地球の全球的冒険) の頭文字を取り、愛称 "BEAGLE 2003" と名付けました。

この航海で観測を行う南半球は観測データも少なく、データの空白域となっており、データの解析により地球温暖化等の気候変動に伴う熱的・密度的な海洋の変化と、二酸化炭素・栄養塩等の物質輸送の変化を明らかにし、地球温暖化等の地球規模の環境変化の解明に役立つと期待されています。

出航式は平成15年5月21日(水)快晴の中、午後2時40分より横浜大さん橋国際客船ターミナルにおいて行われました。出航式では、研究者代表の当センター海洋観測研究部 深澤研究主幹と赤嶺「みらい」船長に対して、航海の安全と研究の成果を期待して、渡海紀三朗文部科学副大臣から激励の挨拶が行われ、続いて横浜観光親善大使より花束が贈呈されました。横浜消防音楽隊(プラスバンド)による演奏が行われる中を、多くの人々に見送られながら、午後3時30分に「みらい」は南半球周航観測へ向け横浜港を出港しました。

(研究業務部)

JAMSTEC
News固体地球統合フロンティア研究システムの久城システム長が
ロンドン地質学会の最高賞「ウォラストン・メダル」を受賞

授与されたメダル(ウォラストンは白金族元素であるパラジウムを発見した化学者で、メダルはパラジウムで作られています)

固体地球統合フロンティア研究システムの久城システム長が、イギリス The Geological Society の2003年度のウォラストン・メダル(Wollaston Medal)を日本人として初めて受賞されました。授賞式およびそれに続くレセプションは、2003年5月7日、ロンドンのBurlington Houseで行われました。

The Geological Society は「ロンドン地質学会」とも呼ばれ、1807年に創立され、英国国王ジョージ4世により勅許された、世界で最も古く由緒ある地質学会です。現在の会員数は約9000人で、連合王国地質学会として地球科学の進展に寄与しています。

この度久城システム長が受賞されたウォラストンメダルは、1830年に創設された同学会の最高の賞で、地球科学の基礎又は応用面、あるいはその両面における優れた研究により、地球科学界に多大な影響を与えた研究者に授与されるメダルです。「進化論」で有名なチャールズ・ダーウィンも、1859年にこの賞を受賞しています。

(固体地球統合フロンティア研究推進課)

JAMSTEC
News

1万m級無人探査機「かいこう」ビークルの漂流と捜索について



無人探査機「かいこう」ビークル
L3.1m×B2.0m×H2.3m 空中重量5.3t

平成15年5月29日午後4時47分、高知県室戸岬沖約130kmの南海トラフ(水深4,673m)において調査中の1万m級無人探査機「かいこう」は、ランチャー(親機)とビークル(子機)を結ぶ2次ケーブルが破断し、ビークルが浮上後、行方不明になりました。当センターでは、6月24日まで、室戸岬南東沖から犬吠埼東方沖に至る海域を、船舶と航空機で全力を挙げて捜索活動を行っていましたが、何の手がかりも得られていません。

そのため、外部専門家から成る「ビークル漂流捜索アドバイザーグループ」及び「ビークル漂流事故調査委員会」を設置し、今後の捜

索方法や事故原因等を検討しています。

1万mの海底潜航可能な「かいこう」は、世界唯一の調査機器です。当センターでは、「かいこう」ビークルに関する情報提供を求めています。詳しくは、センターホームページ(<http://www.jamstec.go.jp/>)を御覧ください。

(「かいこう」ビークル漂流緊急対策本部)

連絡先: 「かいこう」ビークル漂流緊急対策本部
(研究業務部)

電話: 046-867-9912、9913、9917
(夜間046-867-9180)

FAX: 046-867-9915

メール: sod-rsd@jamstec.go.jp

JAMSTEC
News

地球シミュレータが「21世紀の偉業賞」を受賞



トロフィーを授与された佐藤センター長

6月3日、ワシントンD. C. にて、2003年「コンピュータワールド表彰プログラム」主催

の「21世紀の偉業賞」の授賞式が行われ、「地球シミュレータセンター」が「環境・エネルギーおよび農業」部門の「21世紀の偉業賞」を受賞しました。

「コンピュータワールド表彰プログラム」はITを用いることで社会的に多大な貢献を行った組織に対して、その業績を「21世紀の偉業賞」として表彰することを目的に1988年に設立されました。

現在ではマイクロソフト社長のビル・ゲイツ氏、デル・コンピュータ社長のマイケル・デル氏、IBM社長サミュエル・パルミサーノ

氏、インテル社最高経営責任者クレイグ・バレット氏ら100人に及ぶ有力IT企業の経営者により選定委員会が構成されています。

「21世紀の偉業賞」は、地球シミュレータが受賞した「環境・エネルギーおよび農業」部門以外に、ビジネスおよび関連サービス分野、教育および学術分野など計10部門から構成されており、各部門ごとに、5組の組織がノミネートされ、最終的に各部門の最も評価の高いものが「21世紀の偉業賞」を受賞します。

(地球シミュレータ運用推進課)

JAMSTEC
News

「第3回深海バイオベンチャーフォーラム」の開催について

極限環境生物フロンティア研究システム(システム長 堀越弘毅)では、深海バイオベンチャーセンターの活動の一環として「第3回深海バイオベンチャーフォーラム」を開催します。

深海バイオベンチャーセンターは、地上のものとは異なる特徴を有し、貴重な微生物資源である深海微生物や地殻内微生物、およびそのゲノム情報の産業利用を図ることを目的として設立されました。深海バイオベンチャーフォーラムは、極限環境生物フロンティア研究システムで得られた研究成果を講演会形式で関連企業に紹介し、企業との共同研究の可能性を探ることを目的としています。

詳しくは、センターホームページ(<http://www.jamstec.go.jp/>)を御覧ください。
(極限環境生物フロンティア研究推進課)

開催日時: 平成15年7月18日(金) 13:30~17:00

開催場所: 笹川記念会館 鳳凰の間東京都港区三田3丁目12番12号
(都営地下鉄浅草線 泉岳寺または、JR田町駅下車)

問い合わせ: フロンティア研究推進室 極限環境生物フロンティア研究推進課 高橋
電話: 046-867-9627 FAX: 046-867-9595

平成16年度海洋地球研究船「みらい」個別研究課題の募集について

当センターは、海洋地球研究船「みらい」による共同利用型研究の実施にあたり、平成16年度の「みらい」の研究航海において実施する研究課題を右記のとおり募集します。「みらい」の機能を効果的・効率的に利用して優れた成果を導き出すため、当センターは「みらい」を利用して実施する研究課題を国内外から公募し、科学的に優れた研究課題を「みらい」運用検討委員会(委員長: 半田暢彦愛知県立大学教授)による厳正な審査により選定し、これに基づき運用を行っています。今回の公募は、平成16年6月から平成17年3月までの研究航海が対象となります。詳しくは、センターホームページ(<http://www.jamstec.go.jp/>)を御覧ください。

募集内容: 平成16年度に実施する海洋地球研究船「みらい」による7回の研究航海において、主要研究課題に沿った個別研究課題および乗船研究者
募集期間: 平成15年6月5日(木)~7月4日(金)
応募資格: (イ) 国内の研究機関、大学その他に所属する国内の研究者等
(ロ) 国外からの応募については、(イ)の国内の研究者等を応募代表者とし、これと共同して応募する研究者

問い合わせ: 研究業務部 計画調整課 武藤、佐々木
電話 046-867-9883
E-mail mirakobo@jamstec.go.jp

本部 〒237-0061
横浜市中区新港2番地15
TEL 046-867-9066
むつ研究所 〒035-0022
青森県むつ市大字関根字北関根690番地
TEL 0175-25-3811
横浜研究所 〒236-0001
神奈川県横浜市金沢区昭和町3173-25
TEL 045-778-5316
国際海洋環境情報センター 〒905-2172
沖縄県名護市字豊原224番地の3
TEL 0980-50-0111
東京連絡所 〒105-0003
東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル10階
TEL 03-5157-3900